

東京家政学院大学卒業式 祝辞

学部を卒業される皆様、おめでとうございます。皆様が手にされた学位記は、それぞれ本学で学業を修められた証です。

これまでの皆様のご努力を讃え、晴れの門出を心よりお祝い申し上げます。

また、これまで手塩にかけ、学生を支えてこられたご家族、保護者の皆様にお子様のご卒業を、心からお喜び申し上げます。

さらに、学生たちを熱心に指導された廣江学長はじめ教職員、様々なご支援をいただきました光塩会、保護者会など関係の方々に、感謝申し上げます。

近年、科学技術の水準が高くなり、情報化、国際化、グローバル化が進んでいます。生活が便利になる一方、格差が広がり、経済摩擦や環境問題が深刻になり、地域紛争、犯罪が多発し、また、自分の国や地域の利益を追求する身勝手な動きが見られるようになり、地球全体が一つの大きな岐路に立っています。

いま、新型コロナウイルスによる感染症の拡大が地球全体に及んでいます。こうした時期にこそ、国・地域を超えた国際社会の一丸となった取り組みと、一人ひとりの品位ある行動が求められています。

女性アイドルグループ『欒坂46』のデビュー当時のヒット曲「サイレント・マジョリティ」の中に、次のような歌詞があります。

「どこかの大統領が言っていた 声を上げない者たちは賛成していると

選べるのが大事なんだ 人に任せるな

行動しなければ No と伝わらない」

「ここにいる人の数だけ道はある

自分の夢の方に歩めばいい」

一人ひとりが声をあげないと、社会はなかなか変わりません。皆様が、大学において、専門分野の知識・技術を修得されるとともに、一人ひとりが身につけられた「自分の考えをみんなに伝える力」、「勇気をもってNoが言える力」を実践し、「世の中が変わる、家政が変える」ことを示してください。

皆様は、激動の社会に巣立たれ、それぞれの「道」に進まれます。会社に勤める方、学校や病院、福祉施設で働く方、大学院に進んで研究を続ける方・・・皆様一人ひとりの夢に向かって歩いてください。

いま、世界中が感染症による大きな影響を受けていますが、これから皆様は、自然災害、経済不況、凶悪犯罪、不慮の事故など様々な不安な事態に遭遇されることがあるでしょう。また、疑問に思うこと、理不尽と感ずること、判断に迷うことなど、多くの困難に直面することもあるでしょう。

そうしたとき、大学で学び、友人と共に経験したことを思い出してください。

本学を創設した大江スミ先生の教育理念は、現実を捉える「知識」、生活課題を解決する「技術」、そして、最も重視されたのが、他者を思いやり、知識と技術を社会で正しく活かす「徳性=品格」でした。言い換えるとそれは「モラル」であり、「おもてなし」「気配り」の気持であり、各自の考えに支えられるグローバルな教養であることを思い起してください。

大江スミ先生は、聖書にある“汝は地の塩なり、汝は世の光なり”の言葉を語られ、学院の同窓会

もその言葉から光塩会と名付けられました。

私たち一人ひとは、大海原に降る「ひとひらの雪」かもしれません。

また、大地にこぼれた「一粒の麦」かもしれません。

それぞれが努力して「地の塩」として大地を固める礎となり、「世の光」として家庭や社会を照らす希望となるよう、互いに支えあい、学びあっていこうではありませんか。

そのような希望と期待を込め、また、皆様一人ひとりにかげがいのない未来が開かれることを祈念し、お祝の言葉といたします。

令和2年3月19日

学校法人 東京家政学院

理事長 沖 吉 和 祐